

新中期経営計画について



 三菱ガス化学株式会社



目次

1. MGC Will2014 総括

- 業績推移 P4
- 経常利益差異 P5
- 主要投融資案件 P6
- 定性的評価 P7

2. MGC Advance2017 概要

- 現状認識 P9
- 進むべき事業領域 P10
- 存在理念と
新グループビジョン P11
- MGCグループのありたい姿 P13
- Advance2017 基本方針 P15
- 数値目標 P16
- 投資計画 P18
- 株主還元方針 P19
- 5つの基本方針
 - ①中核事業を中心とした
既存事業の収益力強化 P20
 - ②不採算事業の再構築 P21
 - ③新規事業の創出と育成 P22
 - ④グループ全体の経営効率改善 P23
 - ⑤持続的成長を支える
〈質〉の向上 P26

3. セグメント別事業計画 P28

1. 前中期経営計画 MGC Will2014 総括
2. 新中期経営計画 MGC Advance2017 概要
3. セグメント別事業計画

目次

1. 前中期経営計画 MGC Will2014 総括
2. 新中期経営計画 MGC Advance2017 概要
3. セグメント別事業計画

1. MGC Will2014 総括

- 業績推移 P4
- 経常利益差異 P5
- 主要投融資案件 P6
- 定性的評価 P7

2. MGC Advance2017 概要

- 現状認識 P9
- 進むべき事業領域 P10
- 存在理念と
新グループビジョン P11
- MGCグループのありたい姿 P13
- Advance2017 基本方針 P15
- 数値目標 P16
- 投資計画 P18
- 株主還元方針 P19
- 5つの基本方針
 - ①中核事業を中心とした
既存事業の収益力強化 P20
 - ②不採算事業の再構築 P21
 - ③新規事業の創出と育成 P22
 - ④グループ全体の経営効率改善 P23
 - ⑤持続的成長を支える
〈質〉の向上 P26

3. セグメント別事業計画 P28

業績推移

MGCグループだからできる大きな夢に!

1. MGC Will2014 総括

●業績推移

- 経常利益差異 P5
- 主要投融資案件 P6
- 定性的評価 P7

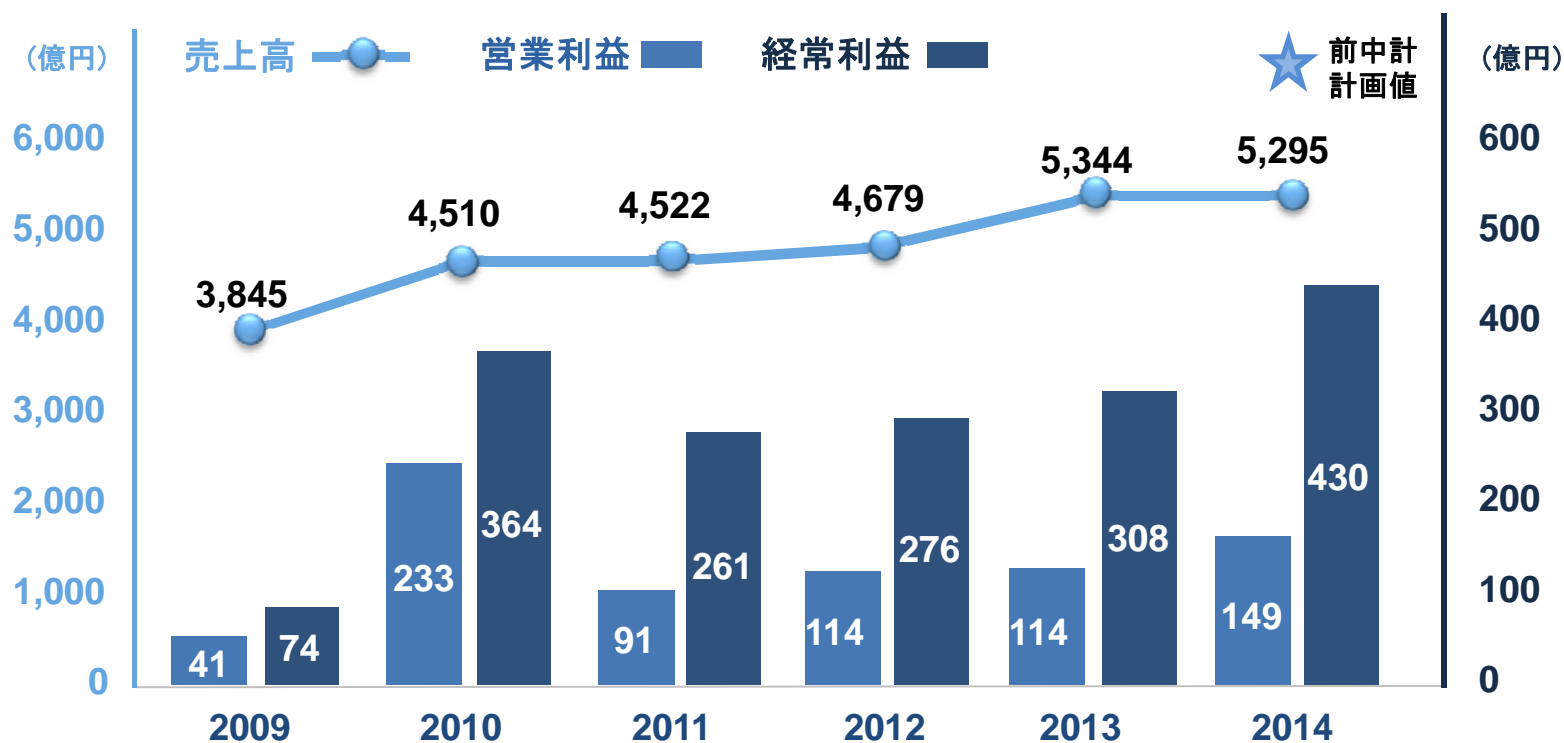
2. MGC Advance2017 概要

- 現状認識 P9
- 進むべき事業領域 P10
- 存在理念と新グループビジョン P11
- MGCグループのありたい姿 P13
- Advance2017 基本方針 P15
- 数値目標 P16
- 投資計画 P18
- 株主還元方針 P19
- 5つの基本方針
 - ① 中核事業を中心とした既存事業の収益力強化 P20
 - ② 不採算事業の再構築 P21
 - ③ 新規事業の創出と育成 P22
 - ④ グループ全体の経営効率改善 P23
 - ⑤ 持続的成長を支える〈質〉の向上 P26

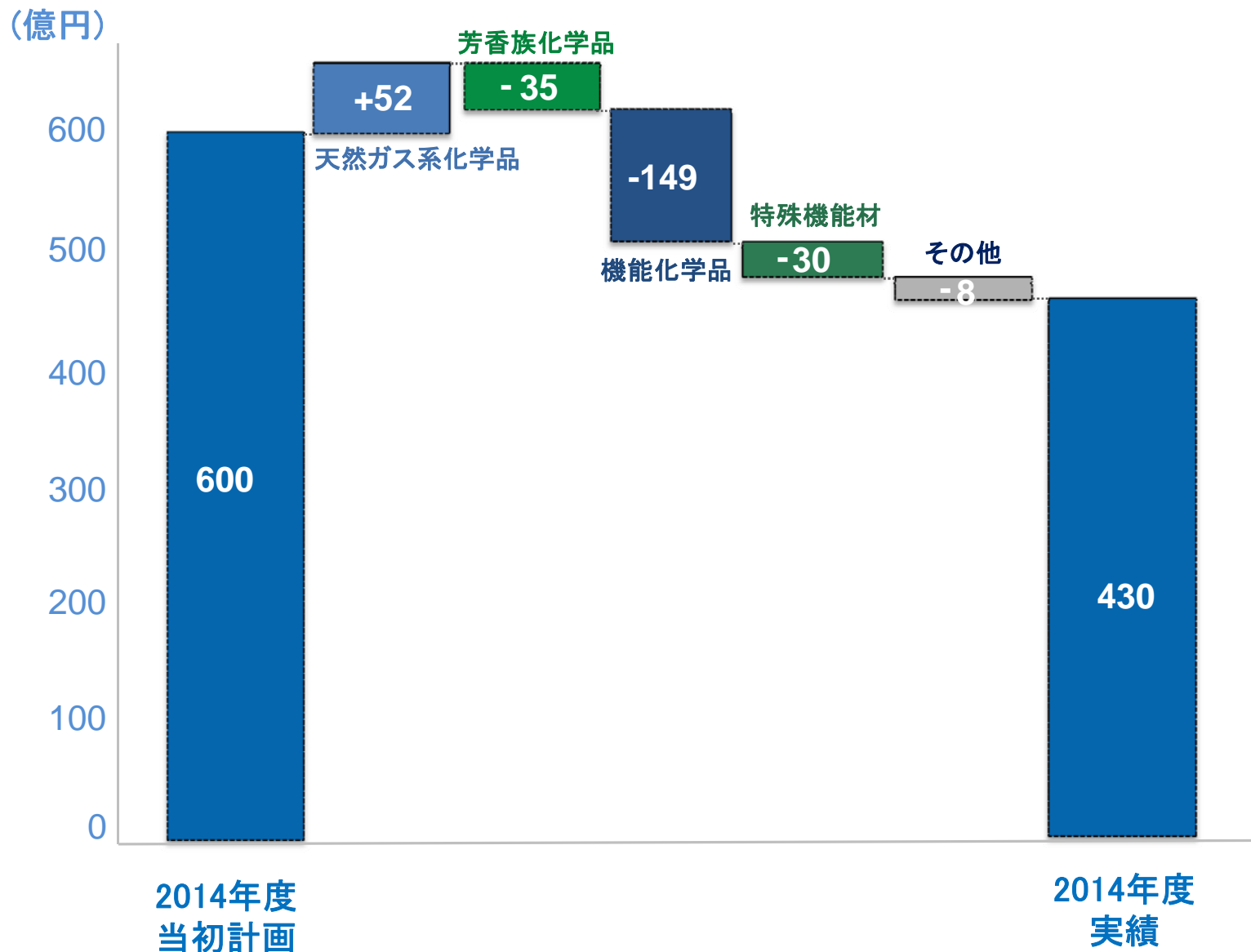
3. セグメント別事業計画 P28

(連結指標)	2012年度実績	2013年度実績	2014年度実績	2014年度計画
売上高(億円)	4,679	5,344	5,295	6,000
営業利益(億円)	114	114	149	400
経常利益(億円)	276	308	430	600
ROA(%) ※	4.6	4.8	5.9	9.0

※経常利益ベース



セグメント別経常利益差異



1. MGC Will2014 総括

- 業績推移 P4
- 経常利益差異 P4
- 主要投融資案件 P6
- 定性的評価 P7

2. MGC Advance2017 概要

- 現状認識 P9
- 進むべき事業領域 P10
- 存在理念と新グループビジョン P11
- MGCグループのありたい姿 P13
- Advance2017 基本方針 P15
- 数値目標 P16
- 投資計画 P18
- 株主還元方針 P19
- 5つの基本方針
 - ① 中核事業を中心とした既存事業の収益力強化 P20
 - ② 不採算事業の再構築 P21
 - ③ 新規事業の創出と育成 P22
 - ④ グループ全体の経営効率改善 P23
 - ⑤ 持続的成長を支える〈質〉の向上 P26

3. セグメント別事業計画 P28

主要投融資案件

MGCグループだからできる大きな夢に!

1. MGC Will2014 総括

- 業績推移 P4
- 経常利益差異 P5
- 主要投融資案件
- 定性的評価 P7

2. MGC Advance2017 概要

- 現状認識 P9
- 進むべき事業領域 P10
- 存在理念と新グループビジョン P11
- MGCグループのありたい姿 P13
- Advance2017 基本方針 P15
- 数値目標 P16
- 投資計画 P18
- 株主還元方針 P19
- 5つの基本方針
- ①中核事業を中心とした既存事業の収益力強化 P20
- ②不採算事業の再構築 P21
- ③新規事業の創出と育成 P22
- ④グループ全体の経営効率改善 P23
- ⑤持続的成長を支える<質>の向上 P26

3. セグメント別事業計画 P28

ポリカーボネート新設
設備能力 8万t/年
●上海 2012



JSP連結子会社化
売上高1,169億円(14年度実績)
●日本 2015



シェールガス・LNGプロジェクト参画
1,200万t/年の1%の権益を取得
●カナダ 2014



ポリアセタール増設
設備能力 10万t/年(増設後)
●タイ 2013



BT積層板新設
設備能力300万m²/年
●タイ 2013

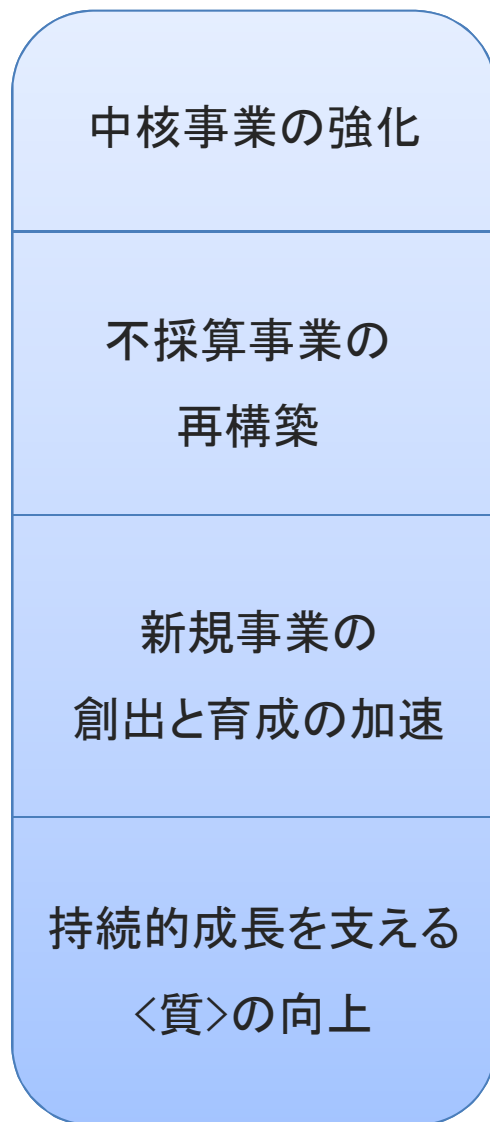


メタノール計画
設備能力 100万t/年
燃料用途DME 2万t/年
●トリニダード・トバゴ 2015

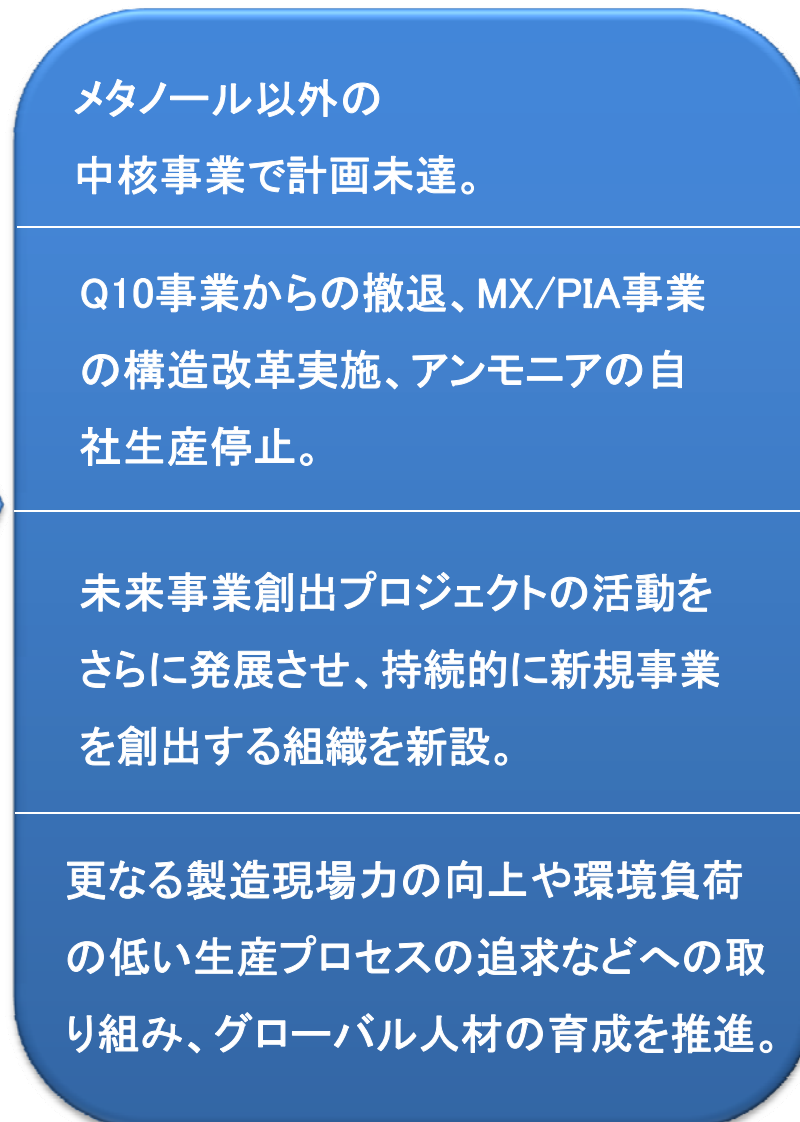


定性的評価

基本方針



評価



1. MGC Will2014 総括

- 業績推移 P4
- 経常利益差異 P5
- 主要投融資案件 P6
- 定性的評価

2. MGC Advance2017 概要

- 現状認識 P9
- 進むべき事業領域 P10
- 存在理念と
新グループビジョン P11
- MGCグループのありたい姿 P13
- Advance2017 基本方針 P15
- 数値目標 P16
- 投資計画 P18
- 株主還元方針 P19
- 5つの基本方針
 - ①中核事業を中心とした
既存事業の収益力強化 P20
 - ②不採算事業の再構築 P21
 - ③新規事業の創出と育成 P22
 - ④グループ全体の経営効率改善 P23
 - ⑤持続的成長を支える
〈質〉の向上 P26

3. セグメント別事業計画 P28

目次

1. MGC Will2014 総括

- 業績推移 P4
- 経常利益差異 P5
- 主要投融資案件 P6
- 定性的評価 P7

2. MGC Advance2017 概要

- 現状認識 P9
- 進むべき事業領域 P10
- 存在理念と
新グループビジョン P11
- MGCグループのありたい姿 P13
- Advance2017 基本方針 P15
- 数値目標 P16
- 投資計画 P18
- 株主還元方針 P19
- 5つの基本方針
 - ①中核事業を中心とした
既存事業の収益力強化 P20
 - ②不採算事業の再構築 P21
 - ③新規事業の創出と育成 P22
 - ④グループ全体の経営効率改善 P23
 - ⑤持続的成長を支える
〈質〉の向上 P26

3. セグメント別事業計画 P28

1. 前中期経営計画 MGC Will2014 総括

2. 新中期経営計画 MGC Advance2017 概要

3. セグメント別事業計画

将来トレンドに対する認識

未来社会の鍵を握る将来トレンド

1. MGC Will2014 総括

- 業績推移 P4
- 経常利益差異 P5
- 主要投融資案件 P6
- 定性的評価 P7

2. MGC Advance2017 概要

- 現状認識**
- 進むべき事業領域 P10
- 存在理念と新グループビジョン P11
- MGCグループのありたい姿 P13
- Advance2017 基本方針 P15
- 数値目標 P16
- 投資計画 P18
- 株主還元方針 P19
- 5つの基本方針
 - ①中核事業を中心とした既存事業の収益力強化 P20
 - ②不採算事業の再構築 P21
 - ③新規事業の創出と育成 P22
 - ④グループ全体の経営効率改善 P23
 - ⑤持続的成長を支える「質」の向上 P26

3. セグメント別事業計画 P28

[環境]

- 温室効果ガス増加に伴う地球温暖化、気候変動
- 天然資源の調達競争の激化

[経済]

- BOP(Base of the Economic Pyramid)層の拡大
- GDPの伸張とエネルギー需要の増大
- 新興国の急速な経済成長

[人・社会]

- 人口爆発に伴う水・食糧需要の増大
- 先進諸国における少子・高齢化の進行
- IT技術の進展によるネットワーク化の加速
- ビッグデータの集積

[将来トレンドが及ぼす影響]

- 途上国を中心とした人口増加とそれに起因するエネルギー・資源、食糧問題
- IT技術の進展に伴う個人と社会との関係の変化
- 温暖化をはじめとする気候変動や環境問題の深刻化

社会的課題、MGCグループの強みと進むべき事業領域

1. MGC Will2014 総括

- 業績推移 P4
- 経常利益差異 P5
- 主要投融資案件 P6
- 定性的評価 P7

2. MGC Advance2017 概要

- 現状認識 P9

● 進むべき事業領域

- 存在理念と新グループビジョン P11
- MGCグループのありたい姿 P13
- Advance2017 基本方針 P15
- 数値目標 P16
- 投資計画 P18
- 株主還元方針 P19
- 5つの基本方針
 - ① 中核事業を中心とした既存事業の収益力強化 P20
 - ② 不採算事業の再構築 P21
 - ③ 新規事業の創出と育成 P22
 - ④ グループ全体の経営効率改善 P23
 - ⑤ 持続的成長を支える<質>の向上 P26

3. セグメント別事業計画 P28

[社会的課題]

(環境)

- 温室効果ガスの排出抑制
- 代替エネルギー・資源の確保

(経済)

- QOL(Quality of life)向上
- 社会インフラ整備

(人・社会)

- 水・食料危機への対処
- ユビキタス社会を支える新情報端末開発
- ビッグデータの有効活用

[MGCグループの強み]

- ユニークな独自技術
- グローバルなマーケティング体制
- 顧客ニーズに応える開発体制
- 幅広い事業展開
- 有力顧客と強固な関係を保有
- 複数拠点での生産体制を保有

[進むべき事業領域]

- エネルギー
- 情報・通信
- モビリティ
- 医・食
- インフラ

存在理念と新グループビジョン

1. MGC Will2014 総括

- 業績推移 P4
- 経常利益差異 P5
- 主要投融資案件 P6
- 定性的評価 P7

2. MGC Advance2017 概要

- 現状認識 P9
- 進むべき事業領域 P10

●存在理念と 新グループビジョン

- MGCグループのありたい姿 P13
- Advance2017 基本方針 P15
- 数値目標 P16
- 投資計画 P18
- 株主還元方針 P19
- 5つの基本方針
 - ①中核事業を中心とした既存事業の収益力強化 P20
 - ②不採算事業の再構築 P21
 - ③新規事業の創出と育成 P22
 - ④グループ全体の経営効率改善 P23
 - ⑤持続的成長を支える〈質〉の向上 P26

3. セグメント別事業計画 P28



MGCの存在理念

「MGCは、化学にもとづく幅広い価値の創造を通じて、社会の発展と調和に貢献します」



新グループビジョン

「社会と分かち合える価値の創造」

存在理念を基軸にCSRの実践を徹底し、新中期経営計画において、めざすべき進路をグループビジョンとして明確化

「社会と分かち合える価値の創造」とは

◆ 「グループビジョン」とは？

長期的視野に立って事業戦略を考える上で、今後当社がどこに向かうのかを明確化する指針として、新たにグループビジョンを策定。同ビジョンは、存在理念のエッセンスを示すものであり、新中計の上位概念として位置付けられる。



◆ 「社会と分かち合える価値の創造」とは？

時代のニーズに応え、豊かな社会を実現する事業を開発しなければならない。同時にそれが収益力を持つ事業でなければ、継続できない。機能・品質・価格を含め、真に社会から必要とされる価値の創造をめざして事業を推進していく。

1. MGC Will2014 総括

- 業績推移 P4
- 経常利益差異 P5
- 主要投融資案件 P6
- 定性的評価 P7

2. MGC Advance2017 概要

- 現状認識 P9
- 進むべき事業領域 P10

● 存在理念と新グループビジョン

- MGCグループのありたい姿 P13
- Advance2017 基本方針 P15
- 数値目標 P16
- 投資計画 P18
- 株主還元方針 P19
- 5つの基本方針
 - ① 中核事業を中心とした既存事業の収益力強化 P20
 - ② 不採算事業の再構築 P21
 - ③ 新規事業の創出と育成 P22
 - ④ グループ全体の経営効率改善 P23
 - ⑤ 持続的成長を支える〈質〉の向上 P26

3. セグメント別事業計画 P28

2021年 MGCグループのありたい姿

- CSRの実践により、社会から高い信認を得続ける企業グループ
- 真の高収益・研究開発型企业集団の実現
- 売上高1兆円を超え、「Global Top30」へ

1. MGC Will2014 総括

- 業績推移 P4
- 経常利益差異 P5
- 主要投融資案件 P6
- 定性的評価 P7

2. MGC Advance2017 概要

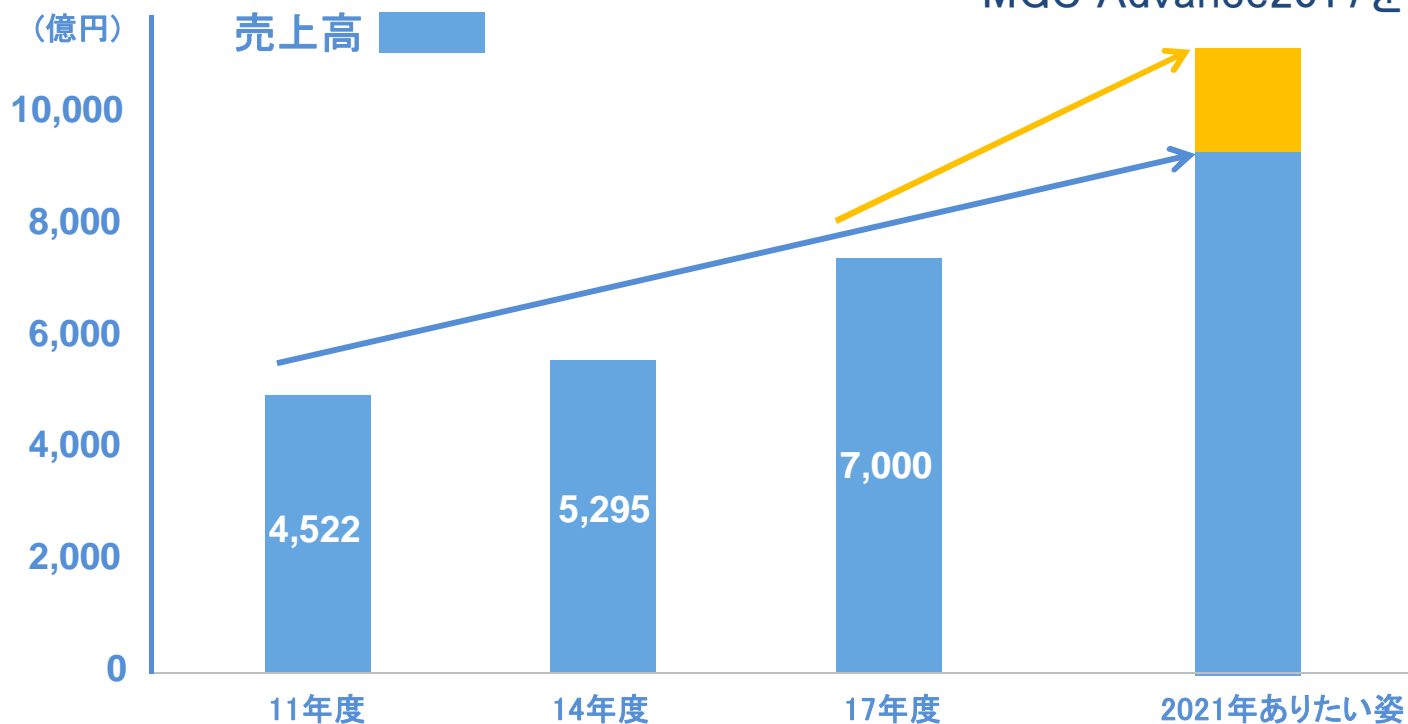
- 現状認識 P9
- 進むべき事業領域 P10
- 存在理念と新グループビジョン P11

● MGCグループのありたい姿

- Advance2017 基本方針 P15
- 数値目標 P16
- 投資計画 P18
- 株主還元方針 P19
- 5つの基本方針
 - ①中核事業を中心とした既存事業の収益力強化 P20
 - ②不採算事業の再構築 P21
 - ③新規事業の創出と育成 P22
 - ④グループ全体の経営効率改善 P23
 - ⑤持続的成長を支える<質>の向上 P26

3. セグメント別事業計画 P28

〈ありたい姿〉に向けて
MGC Advance2017を推進



新中期経営計画 MGC Advance2017

2021年
ありたい姿

◆ サブタイトル

MGCグループだからできる大きな夢に！

◆ 対象期間

2015年4月～2018年3月

MGCグループ全社の連携を一層高め、
より大きな成果の獲得に向かう



MGCグループビジョン
社会と分かち合える
価値の創造



14

MGC Advance2017 基本方針

中核事業を中心とした
既存事業の収益力強化

不採算事業の再構築

新規事業の創出と育成

グループ全体の経営効率改善

持続的成長を支える〈質〉の向上

MGC Advance2017 基本方針

1. MGC Will2014 総括

- 業績推移 P4
- 経常利益差異 P5
- 主要投融資案件 P6
- 定性的評価 P7

2. MGC Advance2017 概要

- 現状認識 P9
- 進むべき事業領域 P10
- 存在理念と新グループビジョン P11
- MGCグループのありたい姿 P13

●Advance2017 基本方針

- 数値目標 P16
- 投資計画 P18
- 株主還元方針 P19
- 5つの基本方針
 - ①中核事業を中心とした既存事業の収益力強化 P20
 - ②不採算事業の再構築 P21
 - ③新規事業の創出と育成 P22
 - ④グループ全体の経営効率改善 P23
 - ⑤持続的成長を支える<質>の向上 P26

3. セグメント別事業計画 P28

1

中核事業を中心とした既存事業の収益力強化

中核事業に対し重点的に経営資源を投じ、収益力の更なる強化を図る。

2

不採算事業の再構築

不採算事業については、出口戦略を模索する。

3

新規事業の創出と育成

既存事業の周辺領域に加え、将来の市場ニーズに合致する新規領域で事業を創出する。

4

グループ全体の経営効率改善

グループ経営の実践により、企業価値の最大化を追求する。

5

持続的成長を支える<質>の向上

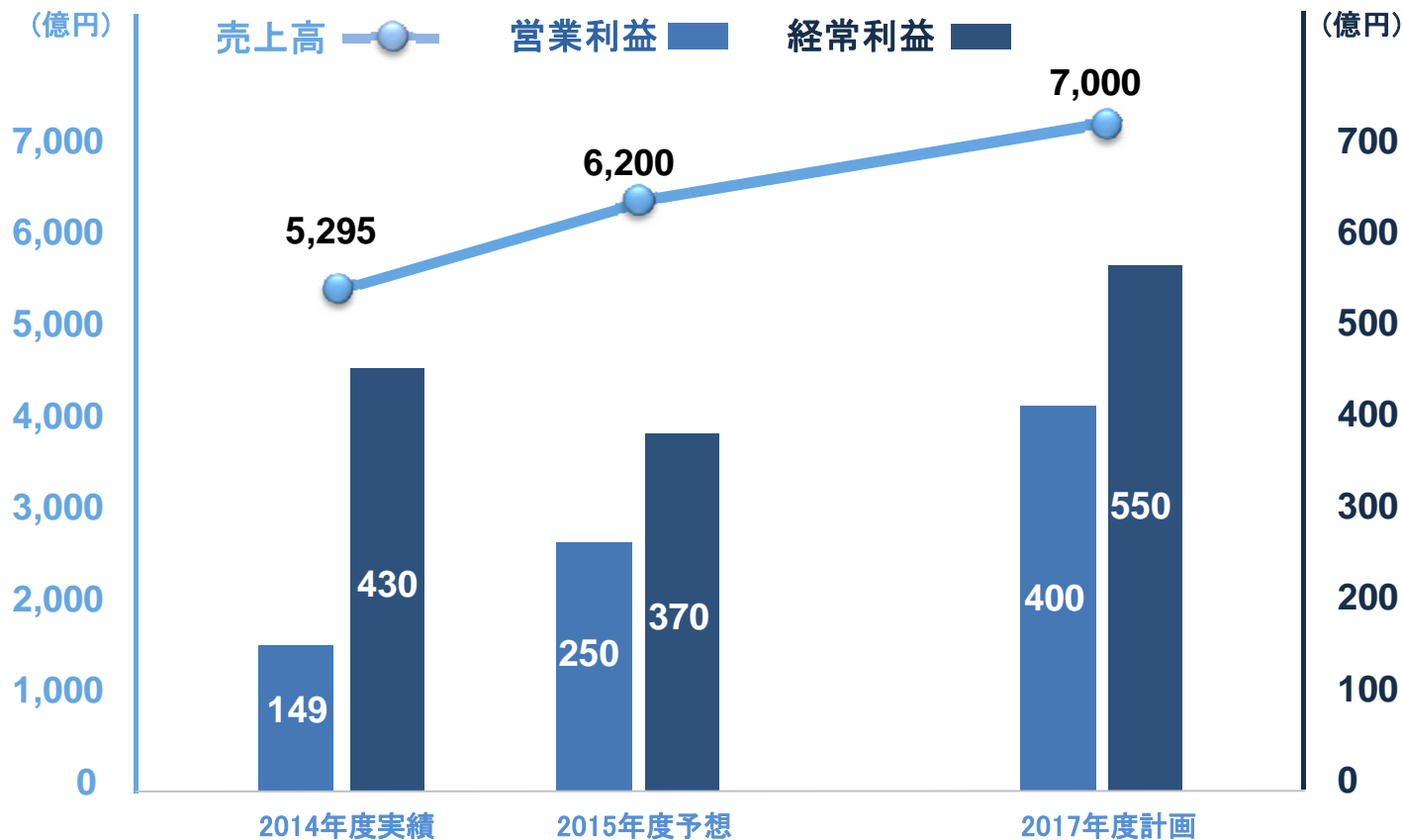
MGCグループの競争力強化を継続的に支えるための<質>の更なる向上を図る。

数値目標

2017年度連結業績目標

(連結指標)	2014年度実績	2015年度予想	2017年度計画
売上高(億円)	5,295	6,200	7,000
営業利益(億円)	149	250	400
経常利益(億円)	430	370	550
ROE(%)	12.9	7.5	9%以上

【前提】	2015年度	2017年度
為替(円/US\$)	115	115
原油(Dubai) (US\$/bbl)	55	65
メタノール (US\$/MT)	305	340



1. MGC Will2014 総括

- 業績推移 P4
- 経常利益差異 P5
- 主要投融資案件 P6
- 定性的評価 P7

2. MGC Advance2017 概要

- 現状認識 P9
- 進むべき事業領域 P10
- 存在理念と新グループビジョン P11
- MGCグループのありたい姿 P13
- Advance2017 基本方針 P15

● 数値目標

- 投資計画 P18
- 株主還元方針 P19
- 5つの基本方針
 - ① 中核事業を中心とした既存事業の収益力強化 P20
 - ② 不採算事業の再構築 P21
 - ③ 新規事業の創出と育成 P22
 - ④ グループ全体の経営効率改善 P23
 - ⑤ 持続的成長を支える<質>の向上 P26

3. セグメント別事業計画 P28

セグメント別経常利益の増減

1. MGC Will2014 総括

- 業績推移 P4
- 経常利益差異 P5
- 主要投融資案件 P6
- 定性的評価 P7

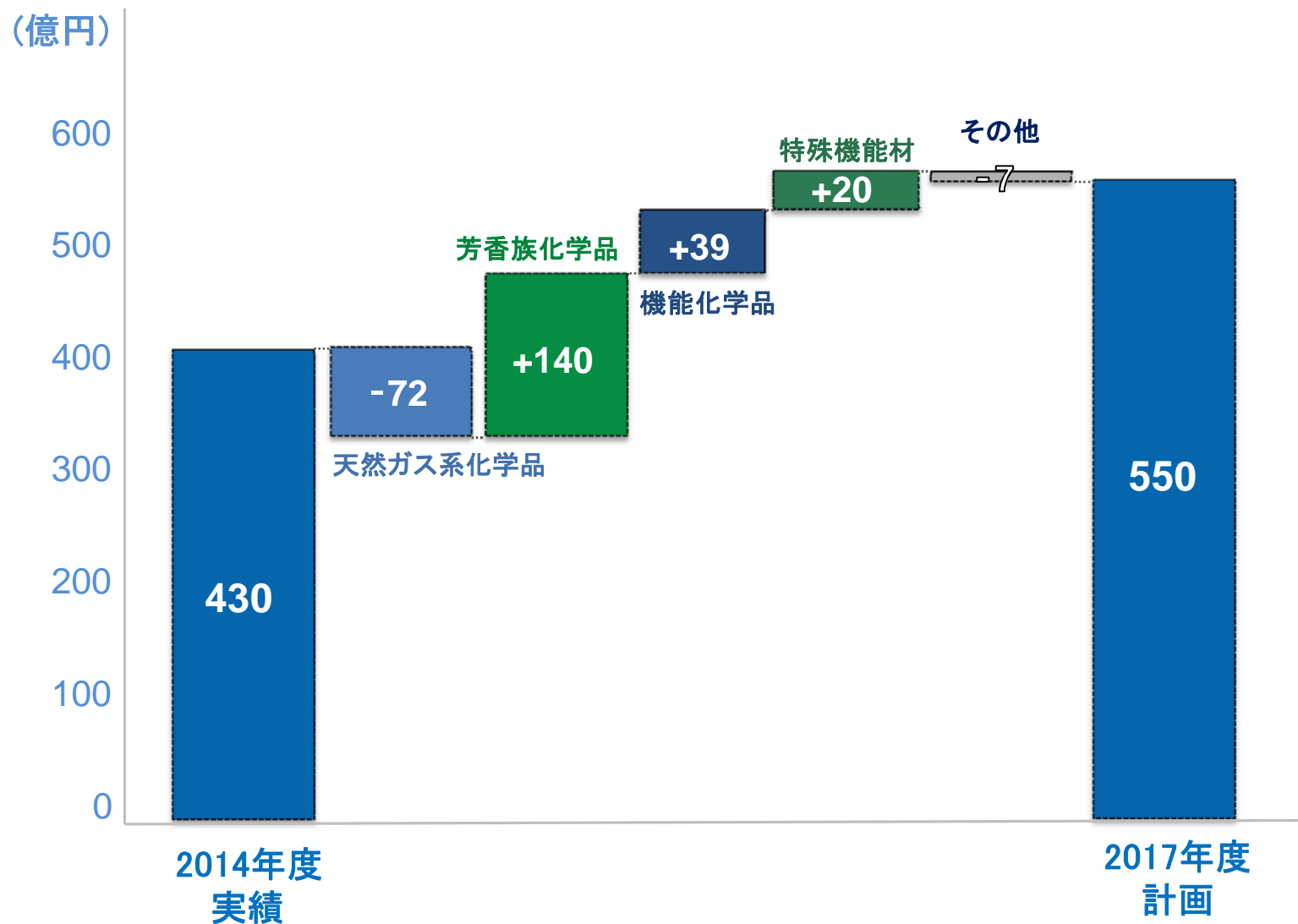
2. MGC Advance2017 概要

- 現状認識 P9
- 進むべき事業領域 P10
- 存在理念と新グループビジョン P11
- MGCグループのありたい姿 P13
- Advance2017 基本方針 P15

● 数値目標

- 投資計画 P18
- 株主還元方針 P19
- 5つの基本方針
 - ① 中核事業を中心とした既存事業の収益力強化 P20
 - ② 不採算事業の再構築 P21
 - ③ 新規事業の創出と育成 P22
 - ④ グループ全体の経営効率改善 P23
 - ⑤ 持続的成長を支える<質>の向上 P26

3. セグメント別事業計画 P28

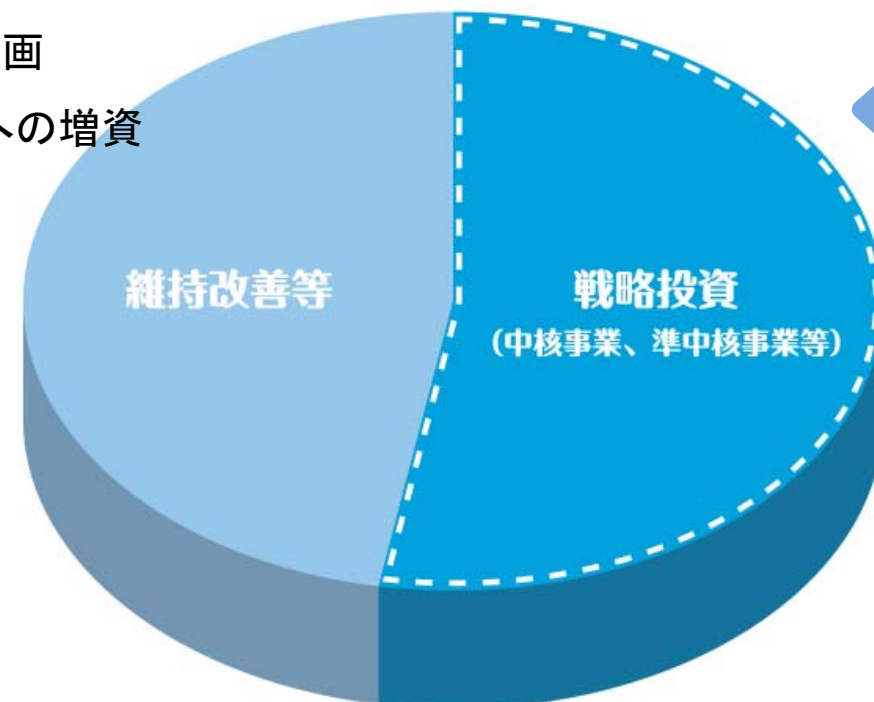


投資計画

中核事業を中心とした既存事業の収益力強化、新規事業の創出と育成に基づき、ターゲット領域の事業に対し優先的に資源を配分する。

投資案件 総投資額1,400億円 (M&Aは含まず)

- ・トリニダード・トバゴ計画
- ・QOL イノベーションセンター白河 第一期計画
MGC フィルシート(株)白河工場計画
脱酸素剤エージレス白河工場計画
- ・カナダ シェールガス LNG事業への増資



1. MGC Will2014 総括

- 業績推移 P4
- 経常利益差異 P5
- 主要投融資案件 P6
- 定性的評価 P7

2. MGC Advance2017 概要

- 現状認識 P9
- 進むべき事業領域 P10
- 存在理念と新グループビジョン P11
- MGCグループのありたい姿 P13
- Advance2017 基本方針 P15
- 数値目標 P16

●投資計画

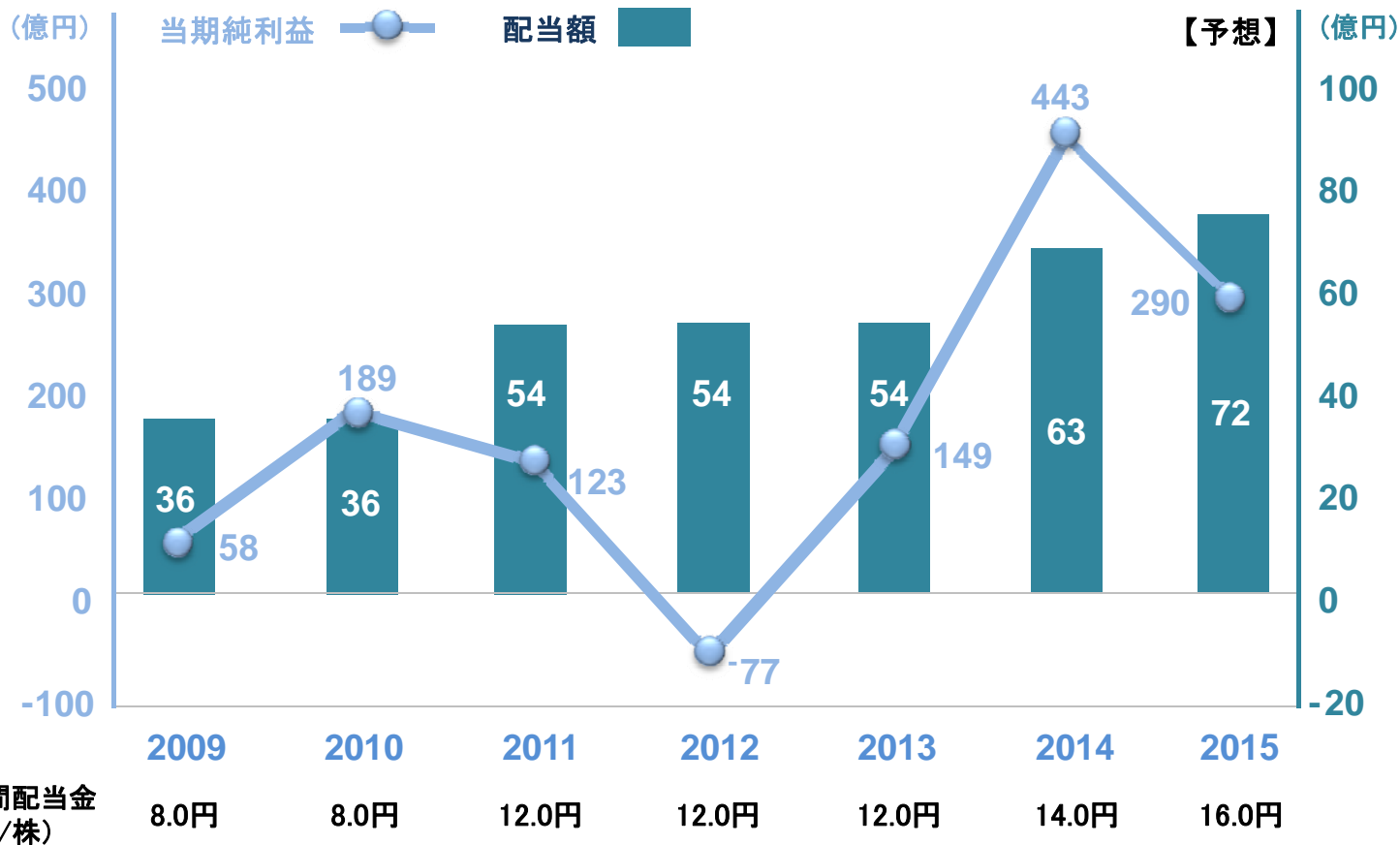
- 株主還元方針 P19
- 5つの基本方針
 - ①中核事業を中心とした既存事業の収益力強化 P20
 - ②不採算事業の再構築 P21
 - ③新規事業の創出と育成 P22
 - ④グループ全体の経営効率改善 P23
 - ⑤持続的成長を支える<質>の向上 P26

3. セグメント別事業計画 P28

MGC Advance2017 概要

株主還元方針

- MGCグループとして株主還元を重視
- 中期的な視点で、業績連動と安定配当を組み合わせた方式により配当額を決定
- 自己株式の取得についても市場環境を見ながら機動的に実施



1. MGC Will2014 総括

- 業績推移 P4
- 経常利益差異 P5
- 主要投融資案件 P6
- 定性的評価 P7

2. MGC Advance2017 概要

- 現状認識 P9
- 進むべき事業領域 P10
- 存在理念と新グループビジョン P11
- MGCグループのありたい姿 P13
- Advance2017 基本方針 P15
- 数値目標 P16
- 投資計画 P18

● 株主還元方針

● 5つの基本方針

- ① 中核事業を中心とした既存事業の収益力強化 P20
- ② 不採算事業の再構築 P21
- ③ 新規事業の創出と育成 P22
- ④ グループ全体の経営効率改善 P23
- ⑤ 持続的成長を支える「質」の向上 P26

3. セグメント別事業計画 P28

中核事業を中心とした既存事業の収益力強化

8つの中核事業、2つの準中核事業に重点的に経営資源を投じ、
収益力の更なる強化を図る。

	中核事業	準中核事業
天然ガス系化学品	メタノール 資源エネルギー	
芳香族化学品	MXDA/MXナイロン 発泡体(JSP)※	芳香族アルデヒド
機能化学品	過酸化水素/ エレクトロニクスケミカル(EL薬品) ポリカーボネート/ 機能性シートフィルム	ポリアセタール
特殊機能材	BT系製品 エージレス	

※発泡体(JSP): 芳香族化学品セグメントに属するグループ会社の中核事業

1. MGC Will2014 総括

- 業績推移 P4
- 経常利益差異 P5
- 主要投融資案件 P6
- 定性的評価 P7

2. MGC Advance2017 概要

- 現状認識 P9
- 進むべき事業領域 P10
- 存在理念と
新グループビジョン P11
- MGCグループのありたい姿 P13
- Advance2017 基本方針 P15
- 数値目標 P16
- 投資計画 P18
- 株主還元方針 P19
- 5つの基本方針

①中核事業を中心とした 既存事業の収益力強化

- ②不採算事業の再構築 P21
- ③新規事業の創出と育成 P22
- ④グループ全体の経営効率改善 P23
- ⑤持続的成長を支える
〈質〉の向上 P26

3. セグメント別事業計画 P28

不採算事業の再構築

今後も、赤字リスクのある事業はモニタリングを継続し、事業ポートフォリオの再構築、人員の再配置、ユーティリティの効率化を含め、競争力強化に取り組んでいく。

1. MGC Will2014 総括

- 業績推移 P4
- 経常利益差異 P5
- 主要投融資案件 P6
- 定性的評価 P7

2. MGC Advance2017 概要

- 現状認識 P9
- 進むべき事業領域 P10
- 存在理念と新グループビジョン P11
- MGCグループのありたい姿 P13
- Advance2017 基本方針 P15
- 数値目標 P16
- 投資計画 P18
- 株主還元方針 P19
- 5つの基本方針 P20
 - ①中核事業を中心とした既存事業の収益力強化

②不採算事業の再構築

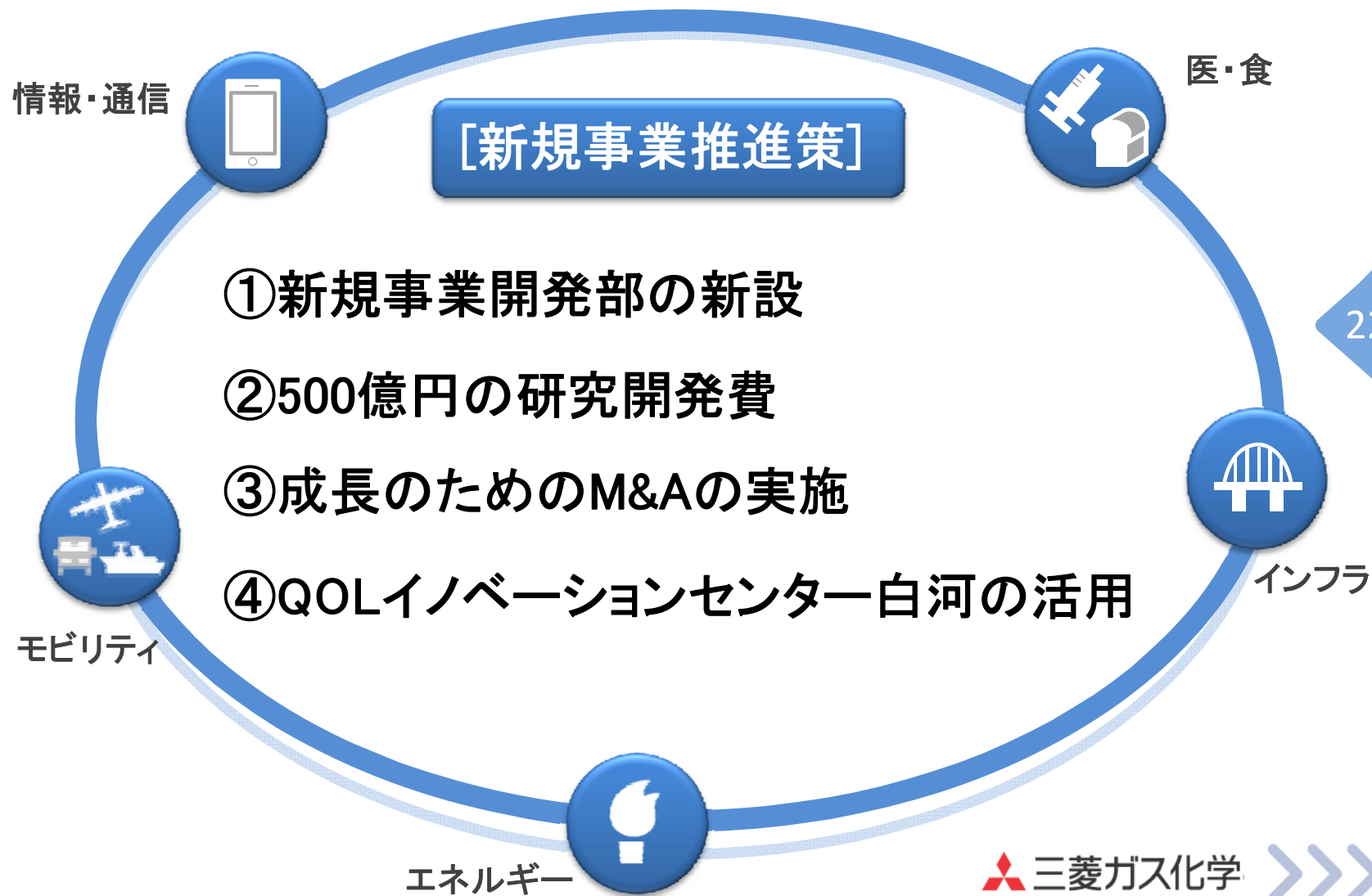
- ③新規事業の創出と育成 P22
- ④グループ全体の経営効率改善 P23
- ⑤持続的成長を支える<質>の向上 P26

3. セグメント別事業計画 P28



新規事業の創出と育成

既存事業の周辺領域での事業創出・育成に加え、
将来の市場ニーズに合致する新規事業の創出を加速する。



1. MGC Will2014 総括

- 業績推移 P4
- 経常利益差異 P5
- 主要投融資案件 P6
- 定性的評価 P7

2. MGC Advance2017 概要

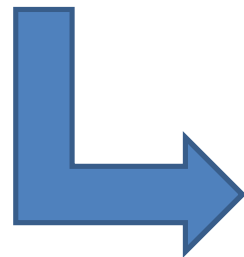
- 現状認識 P9
- 進むべき事業領域 P10
- 存在理念と新グループビジョン P11
- MGCグループのありたい姿 P13
- Advance2017 基本方針 P15
- 数値目標 P16
- 投資計画 P18
- 株主還元方針 P19
- 5つの基本方針
- ①中核事業を中心とした既存事業の収益力強化 P20
- ②不採算事業の再構築 P21
- ③新規事業の創出と育成
- ④グループ全体の経営効率改善 P23
- ⑤持続的成長を支える<質>の向上 P26

3. セグメント別事業計画 P28

グループ全体の経営効率改善

グローバルグループ経営の実践により、MGCグループ／チームとしての企業価値最大化を追求する。

MGCの経営戦略をグループ全社で共有・実践



非適：非連結子会社、持分法非適用会社

1. MGC Will2014 総括

- 業績推移 P4
- 経常利益差異 P5
- 主要投融資案件 P6
- 定性的評価 P7

2. MGC Advance2017 概要

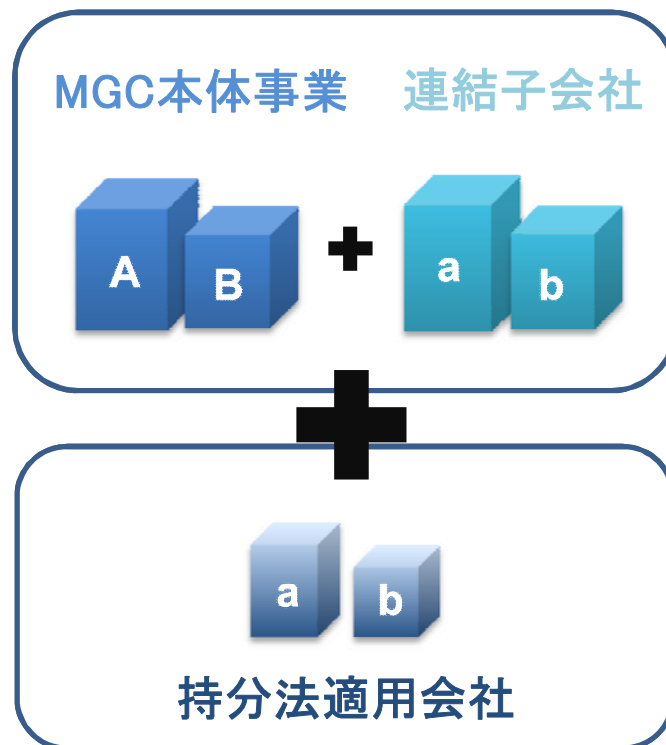
- 現状認識 P9
- 進むべき事業領域 P10
- 存在理念と新グループビジョン P11
- MGCグループのありたい姿 P13
- Advance2017 基本方針 P15
- 数値目標 P16
- 投資計画 P18
- 株主還元方針 P19
- 5つの基本方針
 - ①中核事業を中心とした既存事業の収益力強化 P20
 - ②不採算事業の再構築 P21
 - ③新規事業の創出と育成 P22
 - ④グループ全体の経営効率改善
 - ⑤持続的成長を支える<質>の向上 P26

3. セグメント別事業計画 P28

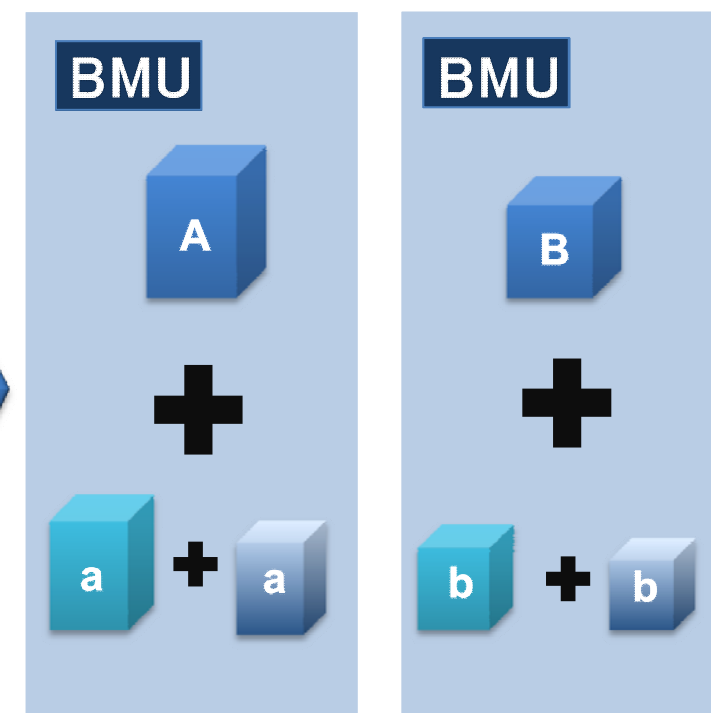
新経営単位による事業運営の効率化

「事業経営単位(BMU)」の導入により、
グループ一体となった戦略構築・実践に向かう。

(現行)



(新規)



1. MGC Will2014 総括

- 業績推移 P4
- 経常利益差異 P5
- 主要投融資案件 P6
- 定性的評価 P7

2. MGC Advance2017 概要

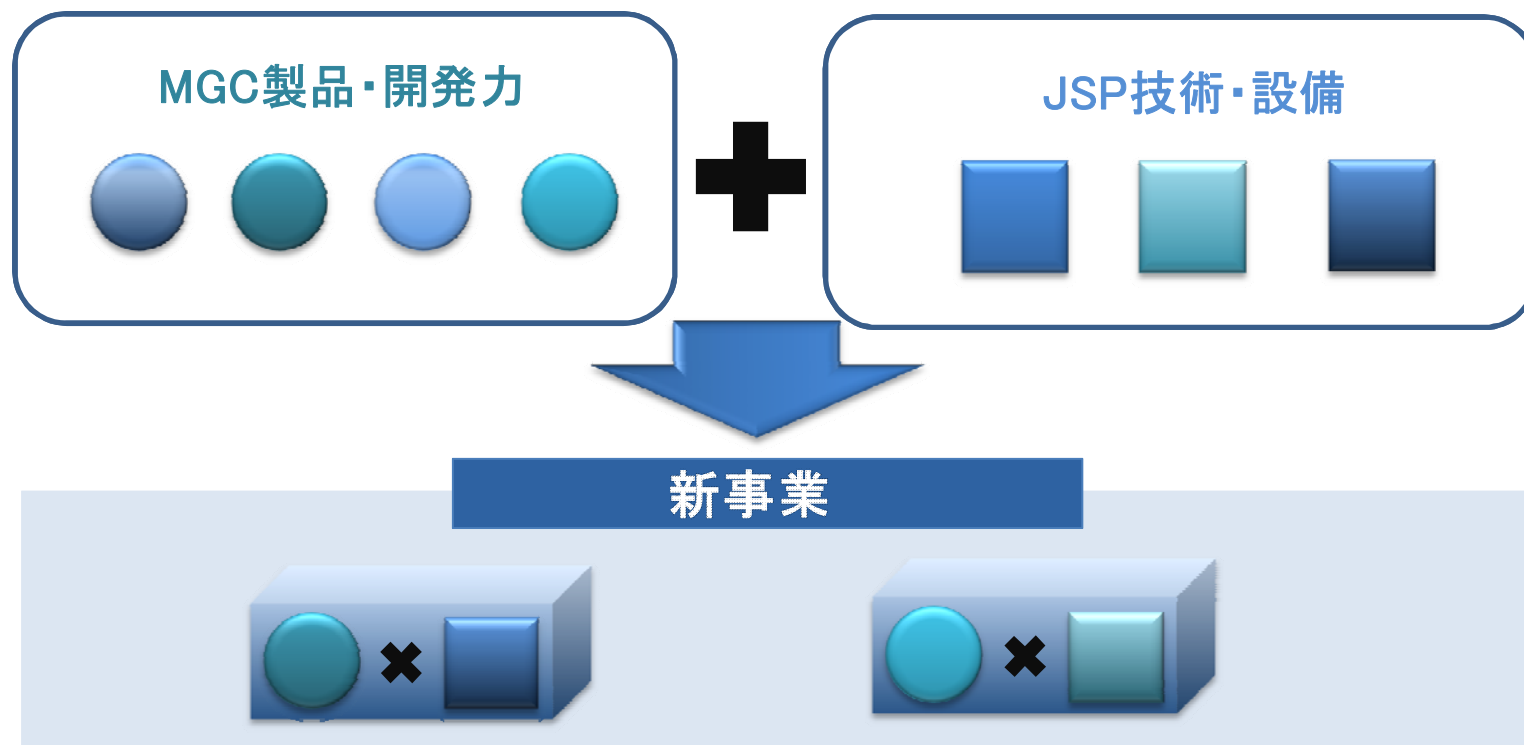
- 現状認識 P9
- 進むべき事業領域 P10
- 存在理念と新グループビジョン P11
- MGCグループのありたい姿 P13
- Advance2017 基本方針 P15
- 数値目標 P16
- 投資計画 P18
- 株主還元方針 P19
- 5つの基本方針
 - ①中核事業を中心とした既存事業の収益力強化 P20
 - ②不採算事業の再構築 P21
 - ③新規事業の創出と育成 P22
 - ④グループ全体の経営効率改善
 - ⑤持続的成長を支える<質>の向上 P26

3. セグメント別事業計画 P28

JSP連結子会社化によるグループシナジー

MGCのユニークな製品・開発力とJSPの独自技術・設備により、
新事業を創出し、グループ企業価値の向上を図る。

MGCとJSP間でシナジー推進委員会を設立し、
一定規模の売上高／利益の事業創出を目指す。



1. MGC Will2014 総括

- 業績推移 P4
- 経常利益差異 P5
- 主要投融資案件 P6
- 定性的評価 P7

2. MGC Advance2017 概要

- 現状認識 P9
- 進むべき事業領域 P10
- 存在理念と新グループビジョン P11
- MGCグループのありたい姿 P13
- Advance2017 基本方針 P15
- 数値目標 P16
- 投資計画 P18
- 株主還元方針 P19
- 5つの基本方針
 - ①中核事業を中心とした既存事業の収益力強化 P20
 - ②不採算事業の再構築 P21
 - ③新規事業の創出と育成 P22
 - ④グループ全体の経営効率改善
 - ⑤持続的成長を支える<質>の向上 P26

3. セグメント別事業計画 P28

持続的成長を支える<質>の向上

「社会と分かち合える価値の創造」に向け、MGCグループの競争力強化を継続的に支えるための<質>の更なる向上を図る。

[主要テーマ]

- ①安全・安定運転による損失の最小化
- ②内部統制、コンプライアンスの体制強化
- ③グループの未来を担う人材の確保・育成
- ④健全で強靱な財務体質の実現



1. MGC Will2014 総括

- 業績推移 P4
- 経常利益差異 P5
- 主要投融資案件 P6
- 定性的評価 P7

2. MGC Advance2017 概要

- 現状認識 P9
- 進むべき事業領域 P10
- 存在理念と新グループビジョン P11
- MGCグループのありたい姿 P13
- Advance2017 基本方針 P15
- 数値目標 P16
- 投資計画 P18
- 株主還元方針 P19
- 5つの基本方針
 - ①中核事業を中心とした既存事業の収益力強化 P20
 - ②不採算事業の再構築 P21
 - ③新規事業の創出と育成 P22
 - ④グループ全体の経営効率改善 P23
- ⑤持続的成長を支える<質>の向上

3. セグメント別事業計画 P28

目次

1. 前中期経営計画 MGC Will2014 総括
2. 新中期経営計画 MGC Advance2017 概要
3. セグメント別事業計画

1. MGC Will2014 総括

- 業績推移 P4
- 経常利益差異 P5
- 主要投融資案件 P6
- 定性的評価 P7

2. MGC Advance2017 概要

- 現状認識 P9
- 進むべき事業領域 P10
- 存在理念と
新グループビジョン P11
- MGCグループのありたい姿 P13
- Advance2017 基本方針 P15
- 数値目標 P16
- 投資計画 P18
- 株主還元方針 P19
- 5つの基本方針
 - ①中核事業を中心とした
既存事業の収益力強化 P20
 - ②不採算事業の再構築 P21
 - ③新規事業の創出と育成 P22
 - ④グループ全体の経営効率改善 P23
 - ⑤持続的成長を支える
〈質〉の向上 P26

3. セグメント別事業計画 P28

天然ガス系化学品 主要事業戦略

基盤整備を行い、2021年ありたい姿に向けた準備を進める。

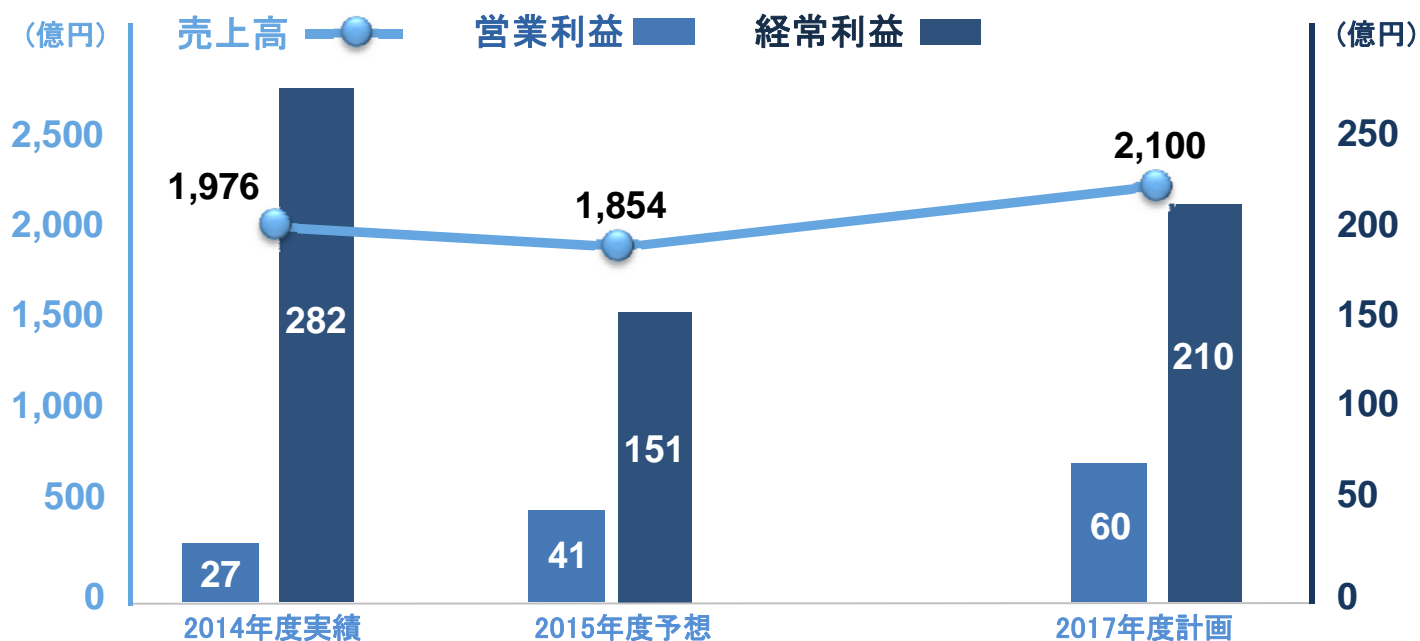
「メタノール」

- ・トリニダード・トバゴプロジェクトの推進
(2018年運転開始予定)
- ・既存JV基盤強化
(サウジアラビア、ベネズエラ、ブルネイ)



「資源エネルギー」

- ・カナダLNGプロジェクトの推進(2019年運転開始予定)
- ・J-Powerおよび三菱マテリアルと共同で秋田県湯沢市に4万KWを超える大規模地熱発電所建設を計画 (2019年運転開始予定)



1. MGC Will2014 総括

- 業績推移 P4
- 経常利益差異 P5
- 主要投融資案件 P6
- 定性的評価 P7

2. MGC Advance2017 概要

- 現状認識 P9
- 進むべき事業領域 P10
- 存在理念と新グループビジョン P11
- MGCグループのありたい姿 P13
- Advance2017 基本方針 P15
- 数値目標 P16
- 投資計画 P18
- 株主還元方針 P19
- 5つの基本方針
 - ①中核事業を中心とした既存事業の収益力強化 P20
 - ②不採算事業の再構築 P21
 - ③新規事業の創出と育成 P22
 - ④グループ全体の経営効率改善 P23
 - ⑤持続的成長を支える〈質〉の向上 P26

3. セグメント別事業計画

芳香族化学品 主要事業戦略

構造改革を終え、中核・準中核事業の収益力を強化する。

「MXDA/MXナイロン」

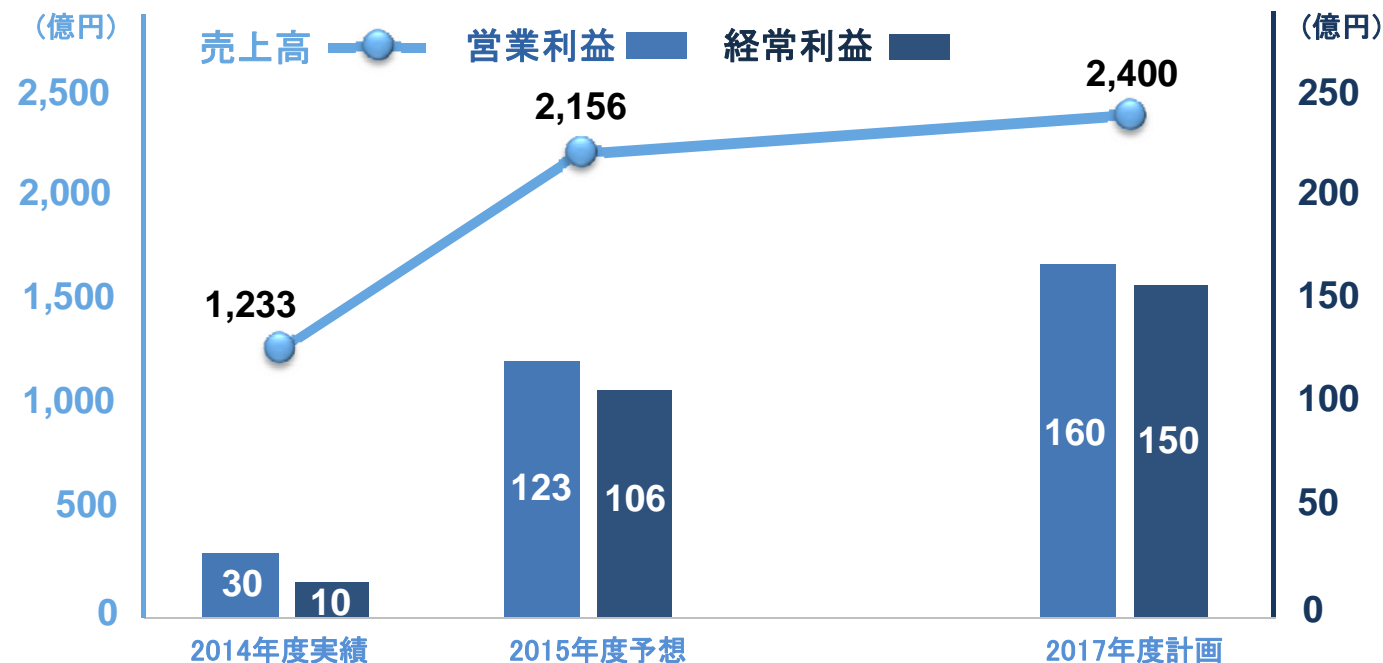
- ・塗料・食品包装材向けに拡販
- ・東欧・オセアニア・中南米など、グローバルな販売・テクニカルサービス・製品開発体制を整え販売地域を拡大

「芳香族アルデヒド」

- ・重要顧客への安定供給
- ・新規誘導体の製品化を実現

「発泡体(JSP)」※

- ・独自技術に基づいた高付加価値製品の販売
 - ・北米・南米・欧州・アジアの各拠点拡大と基盤強化
- ※芳香族化学品セグメントに属するグループ会社の中核事業



1. MGC Will2014 総括

- 業績推移 P4
- 経常利益差異 P5
- 主要投融資案件 P6
- 定性的評価 P7

2. MGC Advance2017 概要

- 現状認識 P9
- 進むべき事業領域 P10
- 存在理念と新グループビジョン P11
- MGCグループのありたい姿 P13
- Advance2017 基本方針 P15
- 数値目標 P16
- 投資計画 P18
- 株主還元方針 P19
- 5つの基本方針
 - ①中核事業を中心とした既存事業の収益力強化 P20
 - ②不採算事業の再構築 P21
 - ③新規事業の創出と育成 P22
 - ④グループ全体の経営効率改善 P23
 - ⑤持続的成長を支える<質>の向上 P26

3. セグメント別事業計画

機能化学品 主要事業戦略

これまでの投資に対するリターンを確実に回収する。

「過酸化水素／EL薬品」

- ・過酸化水素:工業薬品、電子材料用途ともに高品質と供給安定性を武器に国内トップシェアを維持
- ・EL薬品:海外を中心とした半導体市場拡大へ対応、既存顧客のシェア拡大と新規顧客の獲得

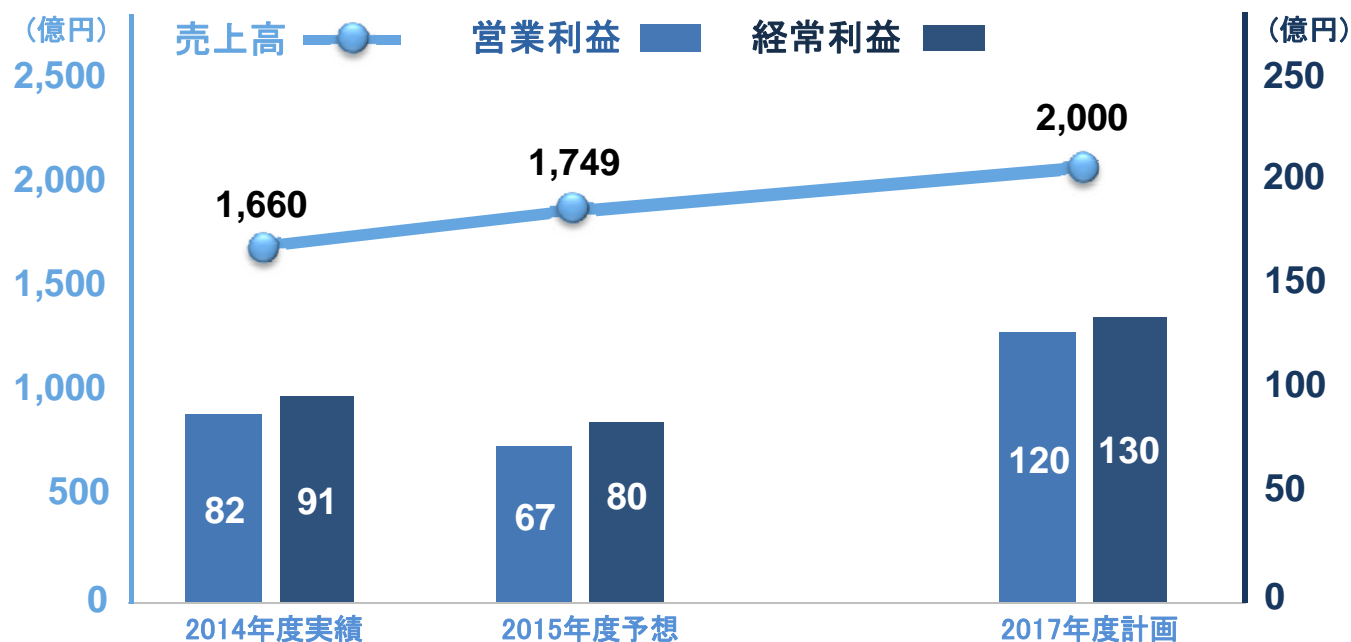


「ポリカーボネート／機能性シートフィルム」

- ・汎用品から、特殊ポリカーボネート、機能性シートフィルム等の高付加価値製品へシフト
- ・海外子会社の利益安定化

「ポリアセタール」

- ・自動車市場およびOA市場への新規グレード開発・投入と、それらによる拡販展開



1. MGC Will2014 総括

- 業績推移 P4
- 経常利益差異 P5
- 主要投融資案件 P6
- 定性的評価 P7

2. MGC Advance2017 概要

- 現状認識 P9
- 進むべき事業領域 P10
- 存在理念と新グループビジョン P11
- MGCグループのありたい姿 P13
- Advance2017 基本方針 P15
- 数値目標 P16
- 投資計画 P18
- 株主還元方針 P19
- 5つの基本方針
 - ①中核事業を中心とした既存事業の収益力強化 P20
 - ②不採算事業の再構築 P21
 - ③新規事業の創出と育成 P22
 - ④グループ全体の経営効率改善 P23
 - ⑤持続的成長を支える<質>の向上 P26

3. セグメント別事業計画

特殊機能材 主要事業戦略

既存市場から新規市場へ、販売地域・用途の拡大を狙う

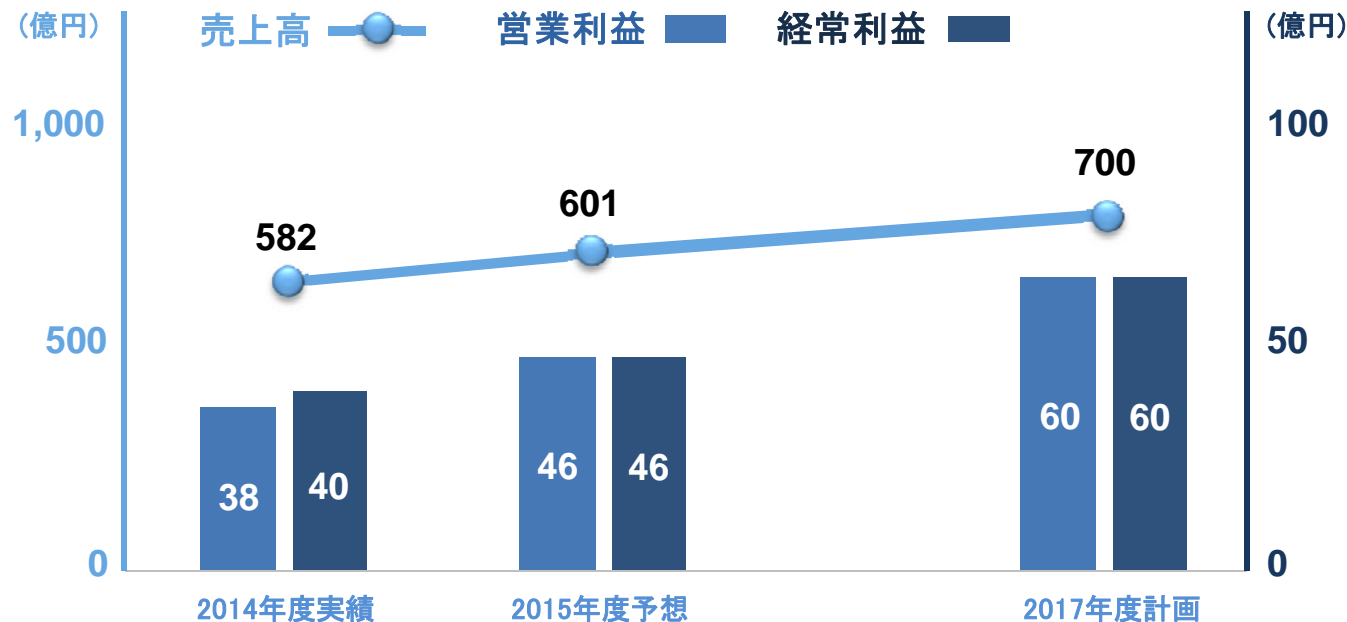
「BT系製品」

- ・モバイル系先端半導体市場における新製品の上市
- ・汎用半導体分野における多様なニーズに対応する



「エージレス」

- ・海外市場開発を加速し、国内市場依存からの脱却
- ・食品以外の医薬・工業分野での市場開発強化



1. MGC Will2014 総括

- 業績推移 P4
- 経常利益差異 P5
- 主要投融資案件 P6
- 定性的評価 P7

2. MGC Advance2017 概要

- 現状認識 P9
- 進むべき事業領域 P10
- 存在理念と新グループビジョン P11
- MGCグループのありたい姿 P13
- Advance2017 基本方針 P15
- 数値目標 P16
- 投資計画 P18
- 株主還元方針 P19
- 5つの基本方針
 - ①中核事業を中心とした既存事業の収益力強化 P20
 - ②不採算事業の再構築 P21
 - ③新規事業の創出と育成 P22
 - ④グループ全体の経営効率改善 P23
 - ⑤持続的成長を支える「質」の向上 P26

3. セグメント別事業計画



[MGC Advance2017 ロゴマークデザインのコンセプト]

- 「Advance(未来への前進)」を象徴するピクトグラムとして、快走するランナーと、前方に向かうベクトルを図案化しました。また、複数のランナーが並走する図案としたのは、MGCのみならず、グループ各社が連携し、足並みを揃えて前進する姿を表現したものです。
- Advance の頭文字「A」に添えた赤いマークは、今回の中期経営計画を完遂するための「情熱」「汗(努力)」を表します。

新中期経営計画の趣旨を視覚的にも分かりやすく伝えることで、社内外の皆様の関心を喚起し、理解の深化の一助になればと考えております。

お問い合わせ先

三菱ガス化学株式会社

広報IR部

TEL 03-3283-5041

<http://www.mgc.co.jp/>

<見通しに関する注意事項>

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。



Will2014 →→→ Advance2017へ

【参考資料】 今後の進むべき事業領域別事業例

MGCグループだからできる大きな夢に!

1. MGC Will2014 総括

- 業績推移 P4
- 経常利益差異 P5
- 主要投融資案件 P6
- 定性的評価 P7

2. MGC Advance2017 概要

- 現状認識 P9
- 進むべき事業領域 P10
- 存在理念と新グループビジョン P11
- MGCグループのありたい姿 P13
- Advance2017 基本方針 P15
- 数値目標 P16
- 投資計画 P18
- 株主還元方針 P19
- 5つの基本方針
 - ①中核事業を中心とした既存事業の収益力強化 P20
 - ②不採算事業の再構築 P21
 - ③新規事業の創出と育成 P22
 - ④グループ全体の経営効率改善 P23
 - ⑤持続的成長を支える<質>の向上 P26

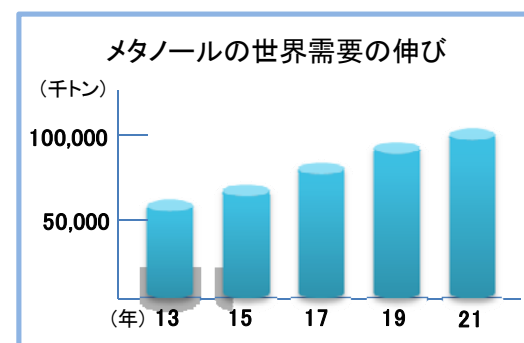
3. セグメント別事業計画 P28

	事業領域				
	エネルギー	情報・通信	モビリティ	医・食	インフラ
新規事業 (事業案)	低環境 負荷燃料 化学的な 備蓄	次世代情報 デバイス向け 光学材料 半導体下層膜 材料 透明ポリイミド	新規構造材 次世代電池	保存期間 延長、新食 品流通技術 酸素吸収 樹脂	劣化 診断薬 迅速内部 診断技術
既存事業	メタノール シェールガス LNG 地熱	EL薬品 BT系製品	ポリカーボネート 発泡体(JSP)	MXナイロン エージレス	MXDA 1,3-BAC

【参考資料】 エネルギー領域事業

国内外のプロジェクトに参画し、原燃料を安定調達

世界的に需要が伸びるメタノールの新拠点として、トリニダード・トバゴで計画を推進。カナダではシェールガス・LNGプロジェクトに参画し、事業基盤を支える原燃料ソースを確保。国内では地熱開発に取り組み、地域社会への電力供給に寄与する。



1. MGC Will2014 総括

- 業績推移 P4
- 経常利益差異 P5
- 主要投融資案件 P6
- 定性的評価 P7

2. MGC Advance2017 概要

- 現状認識 P9
- 進むべき事業領域 P10
- 存在理念と新グループビジョン P11
- MGCグループのありたい姿 P13
- Advance2017 基本方針 P15
- 数値目標 P16
- 投資計画 P18
- 株主還元方針 P19
- 5つの基本方針
 - ① 中核事業を中心とした既存事業の収益力強化 P20
 - ② 不採算事業の再構築 P21
 - ③ 新規事業の創出と育成 P22
 - ④ グループ全体の経営効率改善 P23
 - ⑤ 持続的成長を支える「質」の向上 P26

3. セグメント別事業計画 P28



「再生可能エネルギー」×「化学」による経済的、社会的価値の創出

国内外で導入が加速・推進される、再生可能な枯渇しないエネルギー源の開発を目指す。併せて、余剰エネルギーの備蓄という命題に挑戦し、新たな価値を創出する。

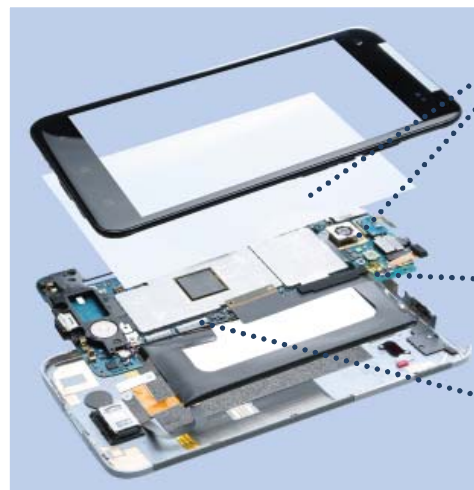
<事業案>

- ・再生可能資源による低環境負荷燃料
- ・余剰2次エネルギーの化学的な備蓄によるエネルギー供給の平準化

【参考資料】 情報・通信領域事業

独自技術に基づく製品群により、先端市場で収益拡大

タイ拠点が始動した半導体パッケージ用のBT材料と、半導体製造に不可欠なEL薬品はグローバルトップレベル。スマートフォンへの採用が進むポリカーボネート、次世代タブレットへの採用が期待される透明ポリイミドを含め、先端市場への展開を加速し、同領域の進展に貢献。



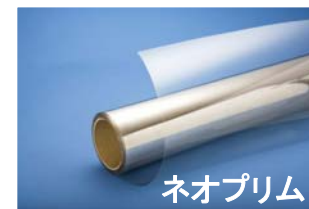
- カメラレンズや導光板、前面板にポリカーボネートの採用が拡大
- 半導体パッケージ材料としてBT材が普及
- 電子デバイス製造時の洗浄剤として高純度のEL薬品が活躍

「新情報端末」×「化学」によるネットワーク社会の発展に貢献

IT技術の進展を支える化学の力により、時代の最先端を行くウェアラブル端末や次々に生み出される製品に寄与することを目指す。情報社会の発展に貢献する。

<事業案>

- ・次世代情報デバイス向け光学材料
- ・半導体下層膜材料
- ・高耐熱性透明ポリイミド



- 折りたたむ・丸めるなど自在に変形できるネオプリム。新世代タブレットやスマホ基板の新市場を開拓する

1. MGC Will2014 総括

- 業績推移 P4
- 経常利益差異 P5
- 主要投融資案件 P6
- 定性的評価 P7

2. MGC Advance2017 概要

- 現状認識 P9
- 進むべき事業領域 P10
- 存在理念と新グループビジョン P11
- MGCグループのありたい姿 P13
- Advance2017 基本方針 P15
- 数値目標 P16
- 投資計画 P18
- 株主還元方針 P19
- 5つの基本方針
 - ①中核事業を中心とした既存事業の収益力強化 P20
 - ②不採算事業の再構築 P21
 - ③新規事業の創出と育成 P22
 - ④グループ全体の経営効率改善 P23
 - ⑤持続的成長を支える<質>の向上 P26

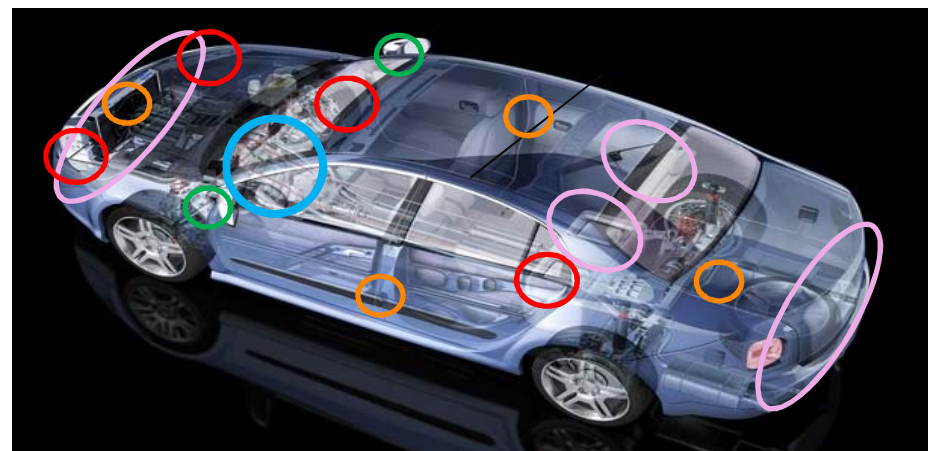
3. セグメント別事業計画 P28

【参考資料】 モビリティ領域事業

高機能樹脂でモビリティへの展開を強化

自動車の内・外装材や機械部品に用いられるポリカーボネート、ポリアセタール、MXナイロン、特殊ポリカーボネート、およびバンパー用途をはじめとする発泡体事業の展開に注力。モビリティ分野での更なる採用拡大を促進し、高齢化社会を想定した、先進的な高度安全技術や、低燃費、環境負荷低減に貢献する。

- ポリカーボネート
- ポリアセタール
- MXナイロン
- 特殊ポリカーボネート
- 発泡体(JSP)



「安全・快適・環境負荷低減」×「化学」による価値ある社会の実現

化学の力が生んだ新素材で、移動の枠を超えた付加価値を創造し、地球規模の環境負荷低減に寄与することを目指す。持続可能な社会の実現に貢献する。

＜事業案＞

- ・有機・無機ハイブリッド材を含み、新規構造材の提案
- ・次世代電池材料

1. MGC Will2014 総括

- 業績推移 P4
- 経常利益差異 P5
- 主要投融資案件 P6
- 定性的評価 P7

2. MGC Advance2017 概要

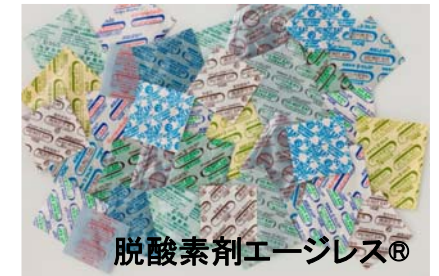
- 現状認識 P9
- 進むべき事業領域 P10
- 存在理念と新グループビジョン P11
- MGCグループのありたい姿 P13
- Advance2017 基本方針 P15
- 数値目標 P16
- 投資計画 P18
- 株主還元方針 P19
- 5つの基本方針
 - ①中核事業を中心とした既存事業の収益力強化 P20
 - ②不採算事業の再構築 P21
 - ③新規事業の創出と育成 P22
 - ④グループ全体の経営効率改善 P23
 - ⑤持続的成長を支える<質>の向上 P26

3. セグメント別事業計画 P28

【参考資料】 医・食領域事業

優れた脱酸素・ガスバリア機能で医・食市場を開拓

鮮度保持剤のトップブランド・エージレス®、多層・単層飲料ボトル向けのMXナイロンに加え、新開発の酸素吸収樹脂を用いた注射剤容器「OXY - CAPT™」を医療用途に展開。脱酸素機能やガスバリア機能を駆使して、食品や医療・医薬分野の市場をさらに開拓し、食の安全・安心、廃棄量の削減に貢献する。



「画期的な食品・医薬品保存法」×「化学」による 食品や医療・医薬分野の課題克服

食品および医薬品の品質劣化防止を目的とした技術で、加工、包装、保管、流通を含めたトータルソリューションの提供を目指す。

<事業案>

- ・保存期間延長、新しい形態での食品流通を可能とする技術の提供
- ・安全性を確保しつつ、持ち運びや物流も容易な製品群
- ・「OXY - CAPT™」



1. MGC Will2014 総括

- 業績推移 P4
- 経常利益差異 P5
- 主要投融資案件 P6
- 定性的評価 P7

2. MGC Advance2017 概要

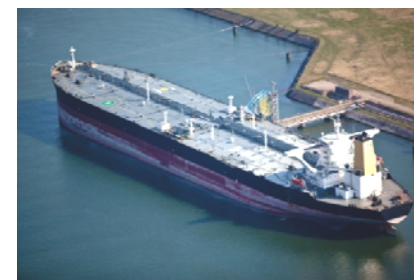
- 現状認識 P9
- 進むべき事業領域 P10
- 存在理念と新グループビジョン P11
- MGCグループのありたい姿 P13
- Advance2017 基本方針 P15
- 数値目標 P16
- 投資計画 P18
- 株主還元方針 P19
- 5つの基本方針
- ①中核事業を中心とした既存事業の収益力強化 P20
- ②不採算事業の再構築 P21
- ③新規事業の創出と育成 P22
- ④グループ全体の経営効率改善 P23
- ⑤持続的成長を支える<質>の向上 P26

3. セグメント別事業計画 P28

【参考資料】 インフラ領域事業

配管や橋の劣化を抑え、長寿化に寄与する防食塗料用途に拡販

優れた耐薬品性を備えたMXDA、および耐候性も兼ね備えた1,3-BACは、グローバル市場でトップシェア。工場配管や橋梁、タンク、船舶塗料等に代表されるエポキシ防食塗料の硬化剤原料としてニーズが高い。両製品の機能を活かし、老朽化が進みつつある社会インフラの補強・長寿化に貢献する。



「インフラ整備開発技術」×「化学」によるトータル技術サポートを展開
 構造物の強度を高める技術に加え、経年劣化した建造物のトラブル解析に必要な技術サポート開発を目指す。対症療法のみならず、事前の予防ソリューションで長期的な経済効果にも寄与する。

＜事業案＞

- ・劣化診断薬
- ・迅速内部診断技術の提供
- ・日常的モニタリング手段の提供

1. MGC Will2014 総括

- 業績推移 P4
- 経常利益差異 P5
- 主要投融資案件 P6
- 定性的評価 P7

2. MGC Advance2017 概要

- 現状認識 P9
- 進むべき事業領域 P10
- 存在理念と新グループビジョン P11
- MGCグループのありたい姿 P13
- Advance2017 基本方針 P15
- 数値目標 P16
- 投資計画 P18
- 株主還元方針 P19
- 5つの基本方針
 - ①中核事業を中心とした既存事業の収益力強化 P20
 - ②不採算事業の再構築 P21
 - ③新規事業の創出と育成 P22
 - ④グループ全体の経営効率改善 P23
 - ⑤持続的成長を支える〈質〉の向上 P26

3. セグメント別事業計画 P28